



第29回 日本小児科医会総会フォーラムinYOKOHAMA



## 市民公開フォーラム

### 市民公開フォーラム 1

座長：道丸 摩耶（産経新聞 記者、浜松医科大学非常勤講師）  
辻 祐一郎（池上総合病院 小児科）

#### 子どもの可能性を伸ばす 10 の黄金法則

杉山芙沙子（次世代 SMILE 協会 代表理事）

### 市民公開フォーラム 2

座長：横田俊一郎（神奈川小児科医会顧問 横田小児科医院）

#### ”結構びっくり面白い” 途上国小児医療の現場からのお話し ー 18 年のカンボジア・ラオスでの経験よりー

赤尾 和美（フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN/ ラオ・フレンズ小児病院）



座長：道丸 摩耶（産経新聞 記者、浜松医科大学非常勤講師）  
辻 祐一郎（池上総合病院 小児科）

## 子どもの可能性を伸ばす 10 の黄金法則

次世代 SMILE 協会 代表理事  
杉山 芙沙子

皆さんはテレビの前や競技会場でスポーツ観戦をされていて、アスリートのパフォーマンスに鳥肌が立ち、感動したことがあると思います。それはきっとアスリートの競技成績やメダルの色、技術レベルだけに魅了されたのではないでしょう。彼らが身につける豊かな人間力の自己表現としてのパフォーマンスや言葉に私達は感動するのだと思います。

スポーツの素晴らしさは、競技の技術力や身体面での体力を向上させるだけでなく、人として大切な挑戦する気持ちやあきらめない力、継続する力などの精神面を鍛え、考え判断する力などの知的能力をも高められることにあります。スポーツはそれらの「人間力」を養う機会をたくさん与えてくれるのです。

近年は子どもを取り巻く環境が変わり、子どもの体力低下と落ち着きや集中力の無さなどの子どもの様子の変化との関係が研究で報告されるようになりました。スポーツの素晴らしさを活かして、子どもたちの身体も心も脳も鍛え、生きる力をもった人に成長してほしい、そういった思いから、2014 年に一般社団法人次世代 SMILE 協会を設立し、これまでの子育て経験、プロテニスプレーヤーとの仕事、脳科学的知見、大学院でのトップアスリートの親子関係の研究などから得られた様々な知見をもとに【スマイルシッププログラム】を開発しました。現在、子どもが楽しく身体を動かし子どもの得意や一番を見つける【スマイルシップスポーツプログラム】と子どもたちをサポートする保育者や保護者にとっての学びとなる【スマイルシップマネジメントプログラム】を啓蒙・実践し、保育園や幼稚園では人材育成のプログラムとしても活用いただいています。

今回の講演では、娘・杉山愛とのエピソードを交えながらスポーツを通して子どもの可能性を伸ばすための方法や、子どもと関わる上での意識や大切なことについて、分かりやすく、楽しく、事例をあげてお話しさせていただきます。

## 【略 歴】

### 【学歴（学位）】

- 1972年 聖心女子大学 文学部 心理学科 卒業（学士）
- 2011年 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 修士課程（平田竹男研究室）  
修了（修士）
- 2017年 順天堂大学大学院 医学研究科医学専攻 博士課程（小林弘幸研究室）  
修了（医学博士）

### 【経 歴】

- 1992年 株式会社ベリィ・ボタン設立、代表理事に就任
- 1997年 元プロテニスプレーヤー杉山愛のサポートチーム「チーム愛」を発足、  
ディレクターに就任
- 1998年 パーム・インターナショナル・テニス・アカデミーを設立、校長に就任
- 2000年 元プロテニスプレーヤー杉山愛のコーチに就任
- 2005年 特定非営利活動法人パームインターナショナル湘南を設立、理事長に  
就任
- 2011年 文部科学省委託事業として公益財団法人日本オリンピック委員会が主  
催した「JOCアスリート・ペアレンツサミット」のディレクター兼講  
師として活動
- 2014年 一般社団法人次世代SMILE協会設立、代表理事に就任
- 2016年 トップアスリートを育てた保護者（アスリートペアレンツ）の子育て  
の知識と知恵を体系立てたセミナーコンテンツを提供する、ジャパン  
アスリートペアレンツアカデミー（JAPA）を展開、代表に就任
- 2017年 東京都渋谷区からの委託事業としてスポーツ共育という新たな子育て  
を発信する「渋谷スポーツ共育プラザ&ラボ “すぽっと”」の運営を開  
始、代表に就任

### 【受賞歴】

- 2004年 文科省スポーツ功労者顕彰受賞
- 2011年 優秀論文賞受賞（早稲田大学大学院）
- 2013年 スポーツ産業学会にて奨励賞受賞

### 【著 書】

- 2004年 『コラボレーション-母と娘の世界挑戦-』 講談社
- 2011年 『杉山式スポーツ子育て』 WAVE出版
- 2011年 『一流選手の親はどこが違うのか』 新潮社



杉山 芙沙子

## 市民公開フォーラム 2

座長：横田俊一郎（神奈川小児科医会顧問 横田小児科医院）

### ”結構びっくり面白い“ 途上国小児医療の現場からのお話し ー 18 年のカンボジア・ラオスでの経験よりー

フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN/ ラオ・フレンズ小児病院

**赤尾 和美**

ふとしたきっかけで関わり始めた国際医療の世界。2 か月の予定が約 20 年も継続する（している）ほどの魅力ある経験は、“結構びっくり面白い”ことが満載。そのユニークな経験を通して、異文化を理解することの重要性と、違う文化の中では提供する医療も違うことを認識した。先進国の医療が万国共通でベストとは限らないのである。医療を提供する立場として、型にはまったものではなく、何がその場所で最適、かつ継続可能なのかということ、多様性・柔軟性を備えて考えることが必要であると実感した。また、日々の医療の現場では、人を医療や疾患という一面からとらえるのではなく、“ホリスティック”（全体的）に見られる目を持ちアプローチしたことで改善を見た症例を通して、人として大事にしたいことを伝える。



## 【略 歴】

- 1985年 杏林大学看護専門学校卒業。正看護師免許取得後、臨床経験を経て渡米。
- 1993年 アメリカ合衆国ハワイ州正看護師免許取得。ワイキキ保健センターでHIV専門クリニック、HIV専門団体にてHIV/AIDS予防教育担当として勤務。
- 1997年 ハワイ大学付属カピオラニ短期大学（～99）
- 1999年 カンボジア シェムリアップ州 アンコール小児病院ボランティアとして2か月滞在。
- 2000年 同上アンコール小児病院にてHIVと訪問看護の専門家として従事。（～2014）
- 2002年 財団法人ソロプチニスト国内国際奉仕者受賞
- 2008年 「この小さな笑顔のために」 書籍出版
- 2009年 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN理事及び事務局責任就任
- 2011年 武蔵野大学通信制にて心理学専攻。
- 2013年 心理学 学士取得。
- 2013年 武蔵野大学通信制にて看護学科履修受講
- 2014年 ラオス ルアンパバーン県 ラオ・フレンズ小児病院立ち上げに従事
- 2015年 同上ラオ・フレンズ小児病院にてアウトリーチディレクターとして訪問看護部門に従事（～現在）
- 2016年 独立行政法人学位授与機構により看護学学士取得 及び フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN代表就任（～現在）
- 2017年 第45回医療功労賞受賞
- 2018年 公益財団法人大山健康財団 大山激励賞受賞



赤尾 和美

